



こんばんは

遠友塾 です!



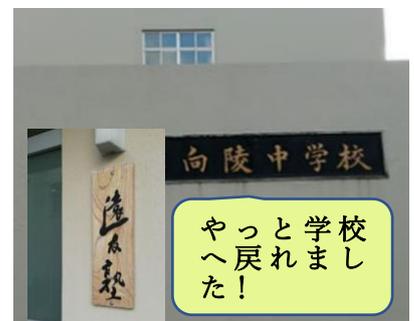
「札幌遠友塾自主夜間中学」は、ボランティアスタッフが運営する自主夜間中学です。これまでさまざまな理由で義務教育を受けることができなかった500人以上の人たちが、励まし・支えあいながら学んできました。遠友塾は1990年にスタートし34年目を迎えました。2009年から皆様のお陰で、札幌市立向陵中学校の教室で、毎週水曜日の夜に授業を行ってきました。なお、コロナ禍のため、3年間は向陵中学校での授業を休止していましたが、4月から再開することができました。喜びもひとしおです。

向陵中学校での入学式—3年ぶりに行われました—

4月12日、19名の新入生を迎え、向陵中学校で3年ぶりの入学式が行われました。最初に遠友塾・黒澤代表より新入生を歓迎する挨拶。次に教室を提供していただく向陵中学校の原田之彦校長先生、さらには札幌市立星友館中学校の工藤真嗣校長先生からご祝辞をいただきました。そのあとは「楽しく学ぶために」スタッフと新入生の交流が図られ、クラススタッフの紹介や、各教科についての説明が行われました。新入生の自己紹介では「悩んだけど思い切って来ました」など、短い言葉の中に一人一人の学びに対する熱い思いが伝わってきました。



学びは
夢の扉



遠友塾

「向陵中での再開にあたって」
札幌市立向陵中学校長 原田之彦

コロナ禍における感染症対策のため、本校舎における遠友塾さんの活動をやむなく休止していただき、三年余りの時間が過ぎました。そのため、遠友塾の皆さまの活動を実際に知らない生徒がほとんどとなりました。しかしながら、二階廊下の掲示板に記載の「こんばんは遠友塾です」や新聞記事により、活動の内容はみな知っているといます。

学びへの意欲高く、世代を超えて出会った仲間と共に、確実に歩みを進み続ける遠友塾皆様の活動の姿は、間違いなく、本校の生徒達の励みとなっています。

学習に向かう姿であったり、中学校卒業後の人生の方向性に影響を受ける生徒も少なくはないと思っています。そのような遠友塾の皆様の活動が本校において再開されたことは、生徒にとっても嬉しいことです。加えて、学びに取り組み皆様に、学校としても、微力ながら、お手伝いさせていただきます。いただいている喜びにつながっています。

これから遠友塾の皆様の活動が一層充実していくことを心よりご祈念申し上げます。



地球の中は火の玉？…(社会)



遠友塾では四月十九日から授業を開始しました。新一年生、やっぱり最初は緊張気味でした。でも国語の詩にいやされ・数学の金魚の絵にほっこりし・社会の地球の不思議に魅了され・わかるかなとドキドキの英語もやさしく丁寧な説明に、「楽しかったよ」と話されていました。がんばれ一年生！

金魚？なに・なんだ…(数学)



卒業式・修了式 三月十五日終了

— 四年かけての卒業 —



第三十回卒業式・第三十二回修了式は三月十五日「北海道立道民活動センター」かでの2・7で行われました。

今年の卒業生は、コロナ禍による休塾が何度もあったため、二年生の学習を二度行い、四年かけての卒業でした。このような大変な時もありましたが、クラス内は幅広い年代の人が集まり、仕事に忙しくなかなか来ることができなかった仲間が久しぶりに顔を見せると、自然と拍手が起こる温かいクラスでした。

卒業生による「一言スピーチ」では、緊張しながらも学びの楽しさや、二十代から九十年代という幅広い年代の人たちがおしゃべりすることで、互いに元気になれた、ことなどを話されました。今年、札幌市立星友館中学校(夜間中学)に進まれる二名の方も、新しい学びに向けてスピーチされました。

卒業する三年生のクラス発表は、グリーンというグループの「あいいうえおんがく」という曲に合わせたダンスと、英語の時間に勉強したビートルズの「オール ツギヤザー ナウ」を歌いました。

最後に「見上げてごらん夜の星を」を全員で歌い、卒業式を終えました。



むっもっくれっい！

— 向陵中での授業再開 —

札幌遠友塾自主夜間中学代表 黒澤晴一

「やっぱり、教室はいいねえ〜！」戻ってこれて嬉しい！、三年ぶりに向陵中学校に戻って授業が再開されました。思わず目頭が熱くなりました。

コロナ禍の感染予防のために、幾度もの休塾を余儀なくされ、学校や公共施設も使用できなかったり、使用制限されたりの日々でしたが、向陵中学校、札幌市教育委員会のご支援ご配慮により、この四月から授業が再開できました。感謝の気持ちで一杯です。毎週水曜日の夜間に歌声から始まり、国語、数学、英語、社会の授業が展開されています。今年度は、受講生六十五名(十代から九十年代)、ボランティアスタッフ六十九名でスタートしました。新スタッフの一人に、三年前に向陵中学校を卒業し、今年大学生になったHさんがおります。きつと中学校在学中に遠友塾の活動を見ていてくれたのだと思います。スタッフ一同大歓迎でした。

コロナ禍の中でも引き続き、札幌遠友塾を支えてくださっている多くの方々があります。運営費を寄付して下さっている「賛助会員(約百八十名)の皆様」や、資料作成のために無償で印刷用のコピー機を提供して下さい、「富士フィルム」や「ジヤパン様」を初めとします多くの方々に、改めて深く感謝し、「学ぶことが生きることの証と喜びになる」を念頭に歩んでいきたいと思っております。今年度もどうぞよろしくお願致します。



札幌遠友塾

受講・スタッフ・見学希望はこちらまで

事務局長 中島圭子 電話：090-7645-7681

代表 黒澤晴一 電話：011-827-8072